



## 東地中海地域ニュース

### ヨルダン：米国の対ヨルダン支援

(2月25日付現地各紙)

スハイル・アリ計画・国際協力相とステファン・ピークラフト米国大使との間で署名された、米国による総額1億ドルの2009年度対ヨルダン無償資金協力に関わる合意内容について概要以下の通り報じている。

1. この資金協力(総額1億ドル)は、2009年度における米国の対ヨルダン経済支援の一環として実施されるものである。米国はヨルダンにとって最大の援助国であり、昨年(2008年)の支援額は、6億6千万ドル(経済・軍事)、1952年以降の総支援額は56億ドルになる。

#### 2. アリ計画・国際協力相発言

今回の支援は、財政(7000万ドル)、経済開発(900万ドル)、若年層・貧困対策(1900万ドル)及びガバナンス・民主化(200万ドル)の4分野に充てられる。同支援の下、ヨルダン政府として引き続き、行財政改革、持続的経済発展の実現、対外公的支援の削除及び貧困対策に邁進していきたい。

#### 3. ピークラフト米国大使発言

2009年の米国の対ヨルダン経済支援額は決定していないが、USAIDによる支援額は、予算成立までのつなぎの支援として位置づけられる。米国・ヨルダン外国関係樹立60周年に鑑み、引き続きヨルダン支援を強力に進めていきたい。